学校だより

１０月号

八潮市立柳之宮小学校　令和８年１０月１日

学校教育目標
やさしい子
元気な子
考える子

挑戦する心、失敗から学ぶ力

八潮市立柳之宮小学校長　砂賀　正史

秋涼の候、保護者の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。朝夕の涼しい風に、ふと秋の訪れを感じる頃となりました。今年は長雨の続く９月となりましたが、校内では子どもたちが落ち着いて学習や運動に向き合う姿が見られました。読書にスポーツ、芸術、そして味覚と、子どもたちには是非、たくさんの「秋」を満喫してほしいと思います。

さて、子どもたちは日々の学校生活の中で、成功と失敗を繰り返しながら、成長していきます。例えば、体育のマット運動。最初は側転ができなかった子が、先生や友達からアドバイスをもらいながら、何度も何度も練習に励みます。試行錯誤を重ね、ついに技ができた瞬間には、飛び跳ねて喜ぶ姿が見られます。少し高い目標に向かって挑戦し、それを自分の力で達成したときに味わう喜びや満足感。そして、そこに至るまでの「どこを、どう変えたらよいのか」を自分で考え、工夫するプロセス。その一つ一つの経験が自信となり、これからの「生きる力」につながっていくのだと確信しています。この９月は、子どもたちのそんな挑戦する姿をたくさん見ることができました。そこには、励まし合う仲間がいて、支える先生がいて、そして、前向きに挑戦できる空気感がありました。教師になって 38 年。私が常に願い続けていることは、「目の前の子どもたちに、よりよい人生を歩んでほしい」ということです。もちろん、成功体験は大切です。しかし、それ以上に、失敗から学ぶことには大きな意味があります。マット運動に限らず、人間関係や日々の生活の中でも、人は様々な失敗を経験することで、「どうすれば次はうまくいくのだろう」と考えます。そして、その経験を教訓として次の行動に生かすことで、少しずつよりよい生き方を身につけていきます。失敗を恐れるのではなく、失敗を成長の糧として、また一歩踏み出す。そんな経験を積み重ねながら、子どもたちには、前向きに、そしてしなやかに成長していってほしいと願っています。

今月は、運動会や修学旅行、社会科見学など、大きな行事が予定されています。子どもたちには、それぞれの目標をしっかりと持って、失敗を恐れず、前向きにチャレンジしてほしいと思います。私たち教職員も、子どもたちの頑張りを最大限に支援し、子どもたちにとっても、私たちにとっても、一生の思い出に残る素晴らしい１０月にしていきたいです。保護者の皆様におかれましても、子どもたちの意欲を高める温かいお声がけや、日々の見守りをどうぞよろしくお願いいたします。